

## 小中学校での食育の取り組みに関するアンケート結果

## ■対象施設数

①小学校	45 箇所
②中学校	19 箇所
合 計	64 箇所

## ■回収数

64 票

回答数(人)	小学校	中学校	合計
合 計	45	19	64
構成比 (%)	70.3	29.7	100.0

## ■回収率

100.0% (64 票/64 票)

# 目 次

1) 地域人材を活用した取り組み	1
①実施の有無	
②実施した地域人材の内訳	
③実施した取り組み内容	
④実施した対象（学年）	
2) 地域人材の活用に関する冊子の活用	3
①活用の有無	
②活用した取り組み内容	
③冊子についてのご意見	
3) 今後取り組みたい食育の内容	4
4) 今年度の児童・生徒に対する食育の取り組み	5
①取り組んだ内容	
②「その他」と回答した取り組み内容	
5) 今年度の保護者に対する食育の取り組み	6
①取り組んだ内容	
②「その他」と回答した取り組み内容	
6) 新型コロナウイルス拡大後、 健康維持のための食事の大切さについての発信・啓発	7
①発信・啓発の有無	
②発信・啓発した内容	
7) 新型コロナウイルス拡大後、 保護者からの食に関する相談	8
①相談の有無	
②相談を受けた内容	
8) 新型コロナウイルス拡大後の食に関する課題	9
①課題の有無	
②「ある」と回答した課題の内容	
9) 食育に関する取り組みの課題等	11

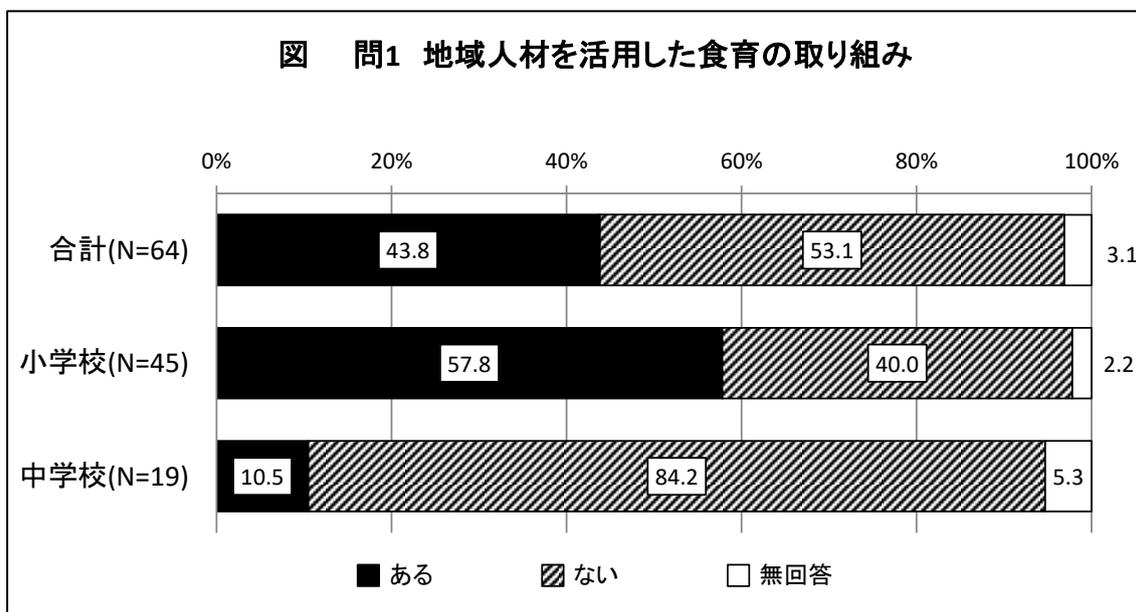
## 1) 地域人材を活用した取り組み

### 問 1

令和元年度に、貴校において地域人材※を活用した食育の取り組みを実施されましたか。実施されていたら、実施した「地域人材」「取組内容」「対象学年」を具体的な内容をご記入ください。(実施されていない場合は、「該当なし」と記載してください。)

※地域人材…農業関係者や食品関連事業者、各種ボランティア、NPO等、食に関わる専門的な知識や技能を有する人。

### ①実施の有無



### ②実施した地域人材の内訳

【小学校】※複数回答あり

- 地域の農業者 : 17校
- 地域のボランティア : 9校 (校区福祉委員など)
- J A北河内農協 : 2校
- 食品関連事業者 : 4校 (明治乳業、カルビー、日本醤油協会、ヤクルト)
- その他 : 3校 (渚水みらいセンター、山田池公園、栄養教諭)
- 該当なし : 19校

### 【中学校】

- 農家体験の方々 : 1校
- 給食調理場栄養士 : 1校
- 該当なし : 17校

## ③実施した取り組み内容

### 【小学校】※複数回答あり

- 地域の農地や校内で農業体験 : 24校 (米、さつまいも、みかん、落花生、ビオトープ)
- 調理実習、試食の実施 : 8校
- 食に関する授業などの実施 : 7校 (野菜づくり、牛乳について、人形劇、醤油や大豆について、カロリーについて)
- その他の体験 : 6校 (餅つき、バターづくり、豆むき、収穫した米の販売、玉ねぎ、すいとんづくり)

### 【中学校】

- 修学旅行にて農業体験 : 1校
- カルシウムについての授業 : 1校

## ④実施した対象 (学年)

### 【小学校】※複数回答あり

- 5年生 : 22校
- 2年生 : 7校
- 1年生 : 4校
- 3年生 : 3校
- 6年生 : 1校

### 【中学校】

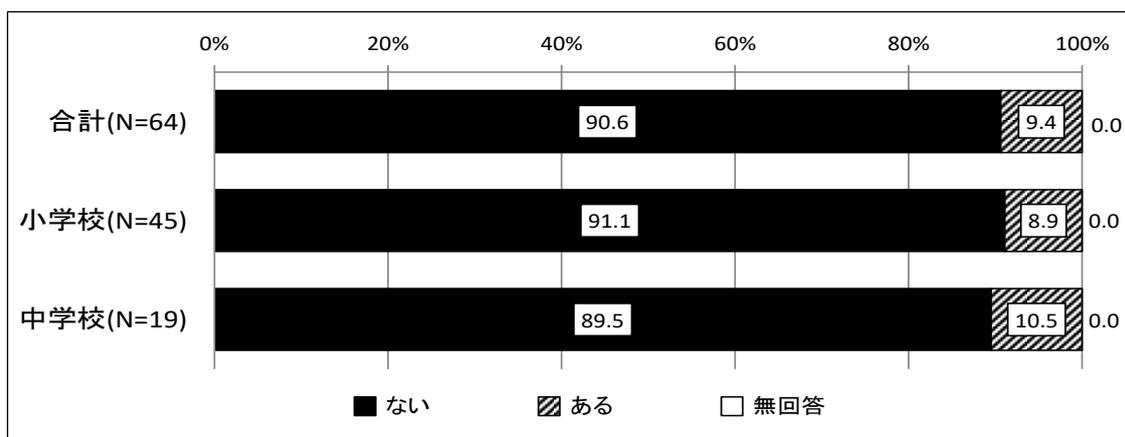
- 3年生 : 1校
- 1年生 : 1校

## 2) 地域人材の活用に関する冊子の活用

### 問 2

枚方市では、地域人材の活用に関する冊子を作成し、令和元年度に各校へ配布しましたが、貴校において地域人材を活用する際、冊子を利用されたことはありますか。また、冊子についてご意見があればご記入ください。

### ①活用の有無



### ②活用した取り組み内容

#### 【小学校】※一部改変・抜粋

- 支援学級での授業
- 各学年に回覧
- 出張授業「おなか元気教室」

#### 【中学校】※一部改変・抜粋

- 職員回覧
- カルビースナックスクール
- 教師が授業で使う

### ③冊子についてのご意見

#### 【小学校】※一部改変・抜粋

- 地域人材がもう少し増えるとうれしい。
- 実際に派遣はなかったが、様々な内容があり、今後の参考になった。
- 引き続き、冊子の更新をお願いしたい。
- 参考にしたい。

#### 【中学校】※一部改変・抜粋

- 情報が詰まっていて、大変参考になった。
- 中学校向けの出前講座（1時間くらい）を増やしてほしい。

### 3) 今後取り組みたい食育の内容

問 3

貴校において、今後取り組みたいと考えておられる食育の取り組みについて、具体的な内容がありましたら、ご記入ください。

#### 【小学校】※一部改変・抜粋

- （地域の方に）郷土料理や伝統食、行事食の伝承。
- 地域の農業者やコミュニティ関係者の協力を得て、米づくりや野菜栽培体験の学習。
- コミュニティスクールを通じて、家庭科の調理実習や農園で野菜を育てるお手伝い等。
- 食物をつくるところからの食育。
- 校外学習の際に地域の伝統食を学べる機会の取り入れ。
- 生産者（農業や漁業）との交流。
- みそ作りをしているので、みそ屋さんの話。
- 食品企業等の出前授業。
- 栄養士・調理師の方の講演。
- 栄養教諭による活発な食育。
- 教科と連携した食に関する指導の充実。
- 保健と食育を連携させ「歯（よく噛むこと）」や「早ね早おき朝ごはん」などを全学年に指導。
- 日々の給食から行事食・和食の話が広がるように、教職員・保護者へのアプローチ。
- 現在の取り組みを継続。
- 新型コロナウイルスの影響を考慮して、実施の有無を検討。

#### 【中学校】※一部改変・抜粋

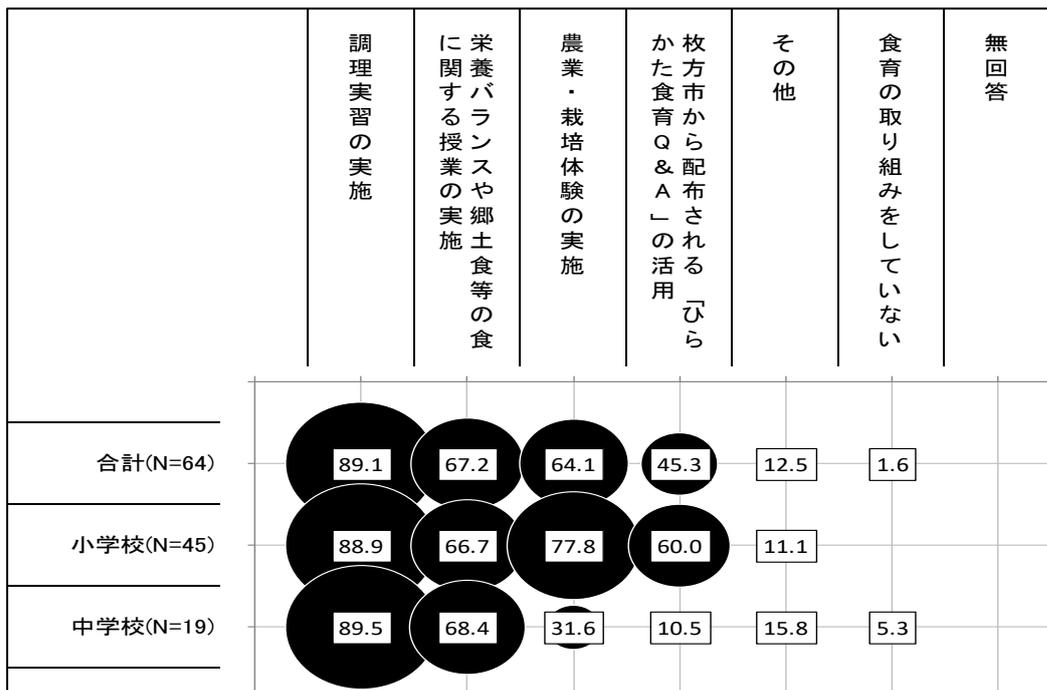
- 防災教育と関連させた非常食のローリングストックや防災メニューの試食会など。
- 思春期の発育期に必要な食事のとり方に対する基礎知識。
- 栄養についての出前講座。
- 家庭科での食育に関する授業について、外部講師による専門的なアドバイス。
- 健康と食生活や食習慣に関する日常生活の中で一人ひとりが心がけられ、身近なものを題材に生活に活かしていくようなプログラム。
- 1年生に食品ロスについての講演。
- 2年生に食について学び、グループ別に飯ごう炊さん。
- 3年生に修学旅行で農業体験。
- 家庭と連携しながら、発達段階の合わせた目標を立てて実践している状況であり、現在のところ、新たな取り組みの必要性はない。
- 学校現場が多忙すぎて、食育だけに時間がとれない。

#### 4) 今年度の児童・生徒に対する食育の取り組み

##### 問 4

令和元年度に、貴校において児童・生徒に対してどのような食育の取り組みをされましたか。あてはまるもの全てを選んでください。

##### ①取り組んだ内容



##### ②「その他」と回答した取り組み内容

###### 【小学校】※一部改変・抜粋

- 調理場との交流。
- 給食週間の取り組み。
- 給食委員会の活動。
- 色々な種類の味噌について。
- 食育だより等の配布。
- お箸の使い方や魚の食べ方の指導。
- 給食の完食週間の実施。

###### 【中学校】

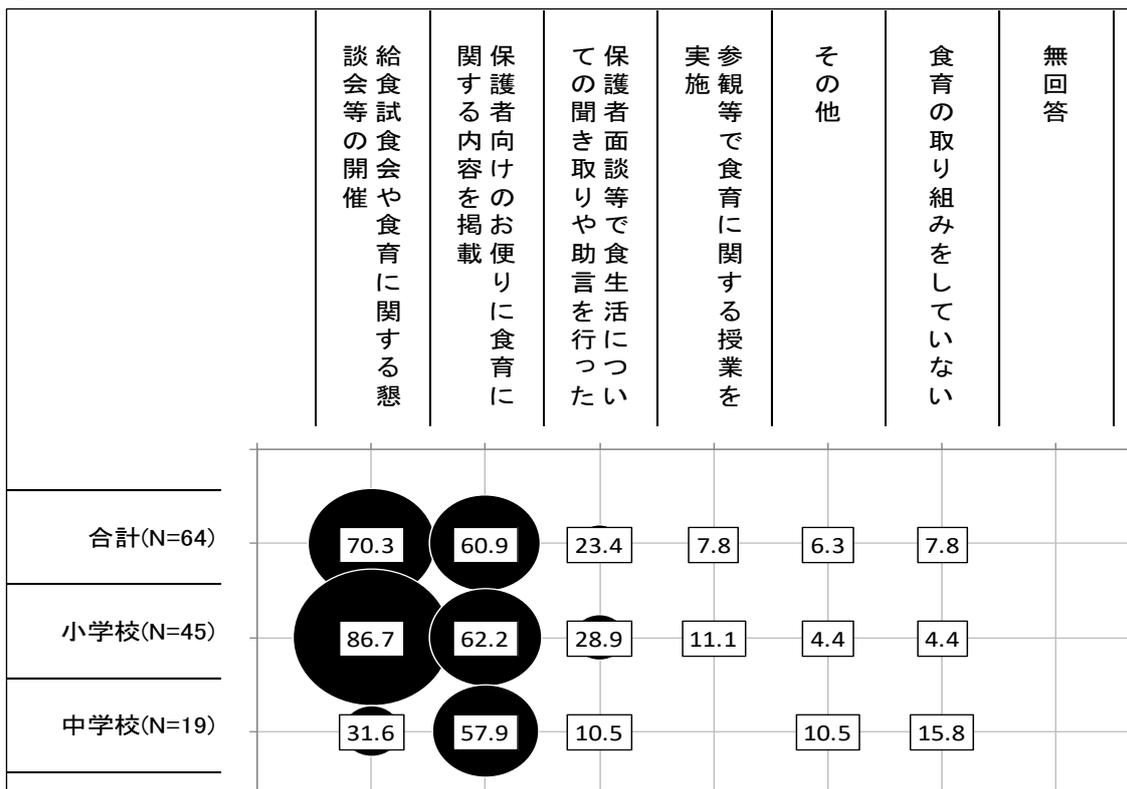
- 保健体育で食事の取り方の重要性の授業や栄養教諭による昼食時に食に関する指導。
- 漁業の体験。
- おいしい給食課から送られてくる「中学校 給食・食育だより」の配布。

## 5) 今年度の保護者に対する食育の取り組み

### 問5

令和元年度に、貴校において保護者に対してどのような食育の取り組みをされましたか。あてはまるものを全て選んでください。

### ①取り組んだ内容



### ②「その他」と回答した取り組み内容

【小学校】※一部改変・抜粋

- ホームページに毎日の給食の写真と栄養士からのコメントを掲載。

【中学校】※一部改変・抜粋

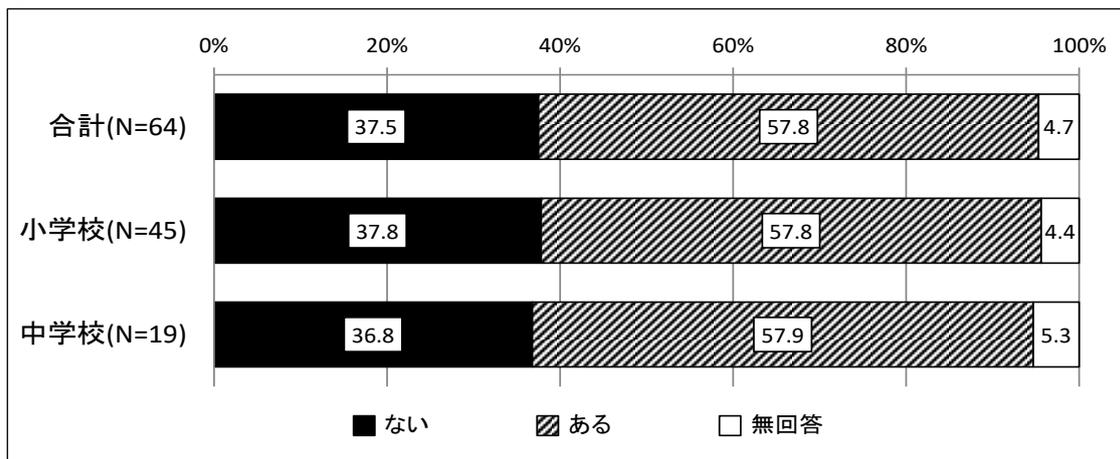
- 家庭科の授業プリントで食育内容を掲載。
- おいしい給食課より提供される食のたよりの配布。

## 6) 新型コロナウイルス拡大後、健康維持のための食事の大切さについての発信・啓発

### 問6

令和2年度、新型コロナウイルス感染拡大後（今まで）、保健だよりなどを通して健康維持のため食事の大切さについて発信・啓発されたものがありますか。

#### ①発信・啓発の有無



#### ②発信・啓発した内容

##### 【小学校】※一部改変・抜粋

○保健だよりや学校だより、メール、ホームページで食育等について啓発した内容

- ・朝ごはんをはじめ体力面で必要なこと
- ・免疫力を上げる食材
- ・食事の役割
- ・感染症にかからないために
- ・毎日3回の食事が大切
- ・食と健康について
- ・バランスの取れた食事の大切さ
- ・健康維持について
- ・コロナ禍での給食
- ・生活リズムの大切さについて
- ・食事バランスガイド
- ・栄養バランスと睡眠、休息
- ・夏の暑い時期の栄養の取り方
- ・病気に負けない体づくり

##### 【中学校】※一部改変・抜粋

○保健だよりや給食だよりで食育等について啓発した内容

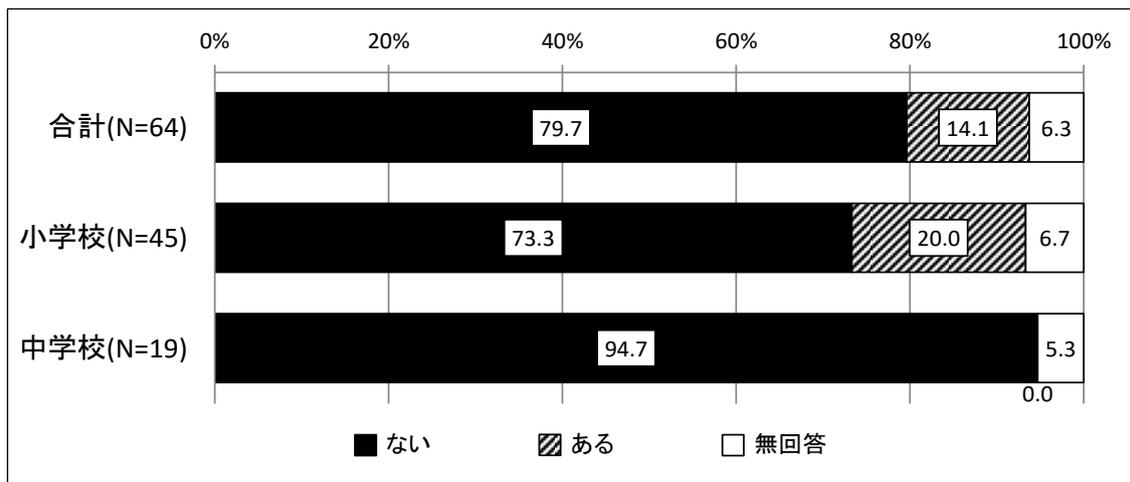
- ・朝ごはんの大切さ
- ・バランスのとれた食事
- ・朝食の大切さについて
- ・旬の野菜について
- ・梅雨の時の食事について
- ・夏の栄養不足について
- ・感染予防や免疫力について
- ・基本的な生活習慣の大切さ（睡眠、運動、食事）
- ・休校中の生活のリズムをつくるための食事について

## 7) 新型コロナウイルス拡大後、保護者からの食に関する相談

### 問7

令和2年度、新型コロナウイルス感染拡大後（今まで）、保護者から食に関する相談がありましたか。

#### ①課題の有無



#### ②相談を受けた内容

##### 【小学校】※一部改変・抜粋

- 中学校のような配膳（ランチBOX）等の相談。
- 児童のだ液などが付着した器具類の片づけのルールについて。
- 給食の食器を配る際に手袋はしないのかなどの指摘。
- 宿泊学習における食事のアレルギー対応。
- 給食の様子を知りたいとの問い合わせがあり、ホームページで給食の様子を掲載。
- 食が細くなった子どもへの声かけの仕方についての相談。
- アレルギーに関する相談。

##### 【中学校】

- 記載なし。

## 8) 新型コロナウイルス拡大後の食に関する課題

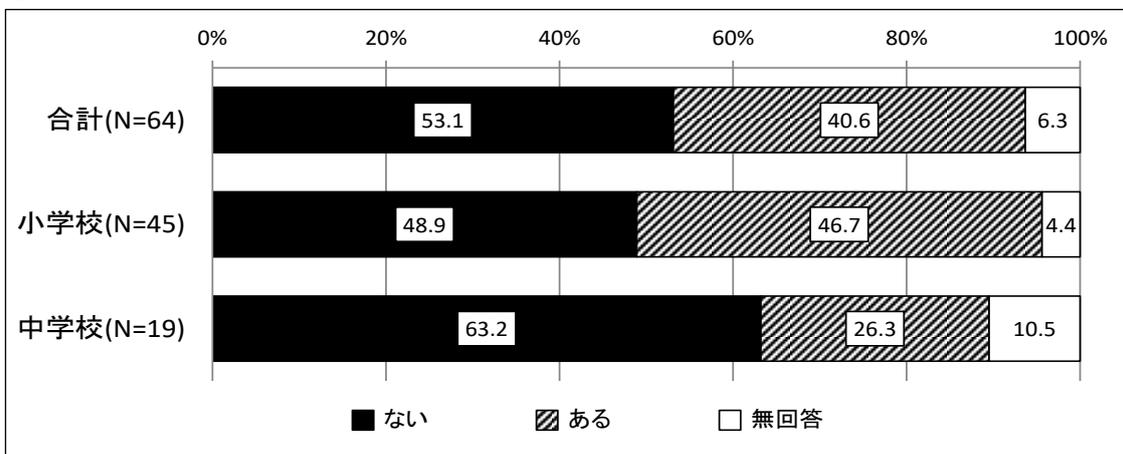
### 問8

令和2年度、新型コロナウイルス感染拡大後（今まで）、児童・生徒や保護者と接する中で食に関する課題と感じていることがあればご記入ください。

（例）・学校での給食がなくなったことにより、3回の食事をとる事が難しくなった児童・生徒がいた。

- ・学校再開後、生活リズムの乱れやストレスにより食事量が減ってしまった児童や生徒がいる。 など

### ①課題の有無



### ②「ある」と回答した課題の内容

【小学校】※一部改変・抜粋

#### ○臨時休業の影響による課題

- ・家で昼食をとっていない児童の対応。
- ・生活リズムが乱れ、朝ご飯が出ない家庭が多い。
- ・食事内容の偏りによる偏食や健康不振等。
- ・学校再開後、生活リズム等が戻るのに時間がかかる児童への対応。
- ・学校再開後、生活リズムの乱れやストレスにより食事量が減った児童への対応。

#### ○新型コロナウイルス感染予防についての課題

- ・調理実習等の検討。
- ・全て動画での学習になり、実習体験の不足が心配。
- ・児童が直接、配膳しないで良い方法。
- ・集団で食事をすることに不安を感じられる保護者の対応。
- ・給食での汚染・感染が不安で喫食ができない児童の対応。

- ・机を寄せ合って食べることができなくなり、楽しい食事ができない。

○その他

- ・以前は、嫌いなものも一口は食べよう、という空気が強かったが、今は嫌いなものは残せばいいという後ろ向きな空気が強い。

**【中学校】** ※一部改変・抜粋

○臨時休業の影響による課題

- ・生活リズムが乱れ、朝食を食べる習慣が減った。
- ・食事量が減った。

○新型コロナウイルス感染予防についての課題

- ・記載なし。

○その他

- ・もともと朝食を食べていない生徒が多い。
- ・学校給食を実施する日が増えるように配慮（行事においても今年は給食を実施）。

## 9) 食育に関する取り組みの課題等

### 問9

貴校において、食育に関する取り組みを行うにあたり、困っていることや課題等がありましたら、ご記入ください。

#### 【小学校】※一部改変・抜粋

##### ○取り組みの内容に関連すること

- ・米作りに協力してくださる農家さんの田んぼが学校から遠いため、頻繁に観察に行くことができない。
- ・農家も高齢化し、協力者を見つけるのが難しい。
- ・新たな食育に関する取組を行うことで、教員の多忙化が進むことのないよう工夫することが求められる。
- ・食物アレルギーの児童が増えたことにより、調理実習を行うとき、配慮することが多く、メニューを考えるのが難しい。
- ・近年、好き嫌いだけでなく、アレルギー等、様々な要因が増え、残さず食べるという指導がやりにくい。
- ・教科とのつながり。
- ・学校で食育を行っても、家庭につながらなければ意味がない。

##### ○人員や体制に関連すること

- ・栄養教諭が配置（兼任も含め）されていないため、専門的な食育に関する授業が行えていない。
- ・栄養教諭の兼務校では子どもや先生との関わりがうすく授業をスムーズにできない。
- ・実習の際、以前より安全性が求められるため、担任1人では目が届かないことがあるので、実習の補助員がいれば助かる。
- ・学校栄養教諭が各校に配置されていない。
- ・共同調理場と自校調理場との人の配置の差。

##### ○新型コロナウイルス感染症予防関連

- ・調理実習や田植え等の実施を見合わせている。
- ・実際に収穫し、調理することが一番の食育を考えることにつながると思うが、今の状況では取り組みを進められない現状がある。
- ・授業時間が切迫しており、食育の取り組みを行う余裕がない。
- ・授業時間が足りない中で、食育に1時間いただくのはかなり気が引ける。
- ・お便りやBOX等のネット配信が増えたが、取り組める人とそうでない人に差が生まれた。
- ・外部講師や地域の方を招くことができない。

- ・給食以外で実食できる機会がない。
- ・給食委員会による食育の取り組みができない。

**【中学校】** ※一部改変・抜粋

○人員や体制に関連すること

- ・食育以外にも必要とされる取り組みが多く、授業での指導機会を確保するのが困難。
- ・昼食時のほか、隙間の時間を活用し、食育の取り組みをすることを検討。
- ・世の中が効率性を求めすぎ、食をゆっくりとる時間を確保できない。

○新型コロナウイルス感染症予防関連

- ・調理実習などの実践的な取り組みがしにくい。
- ・修学旅行で農業体験ができない。